

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	1	10万市民の健康を維持する	評価責任者 (基本施策主管課長)	健康推進課長 入本 理
-------	---	---------------	---------------------	----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 政 策	安心・安全 健やかに暮らせる安心なまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>平成22年度「健康に関する市民意識調査」を行った。健康感全体では、市民の76.4%が、「非常に健康」「まあまあ健康」であると回答し、平成17年度と同調査と大きな差異はない。また、まちづくりアンケートの「満足度」「必要度」も前年度と大きな変化は見られない。</p>
③	基本施策の現状と課題	健康づくりに対し行政に望むものは、「身近で健康チェックなど健康づくりができる場をつくる」47.2%、健康作りに関する情報を手軽に入手することができるように33.8%（健康に関する市民意識調査）となっており日ごろから自分自身の健康状態に関心を持って、自らの健康管理を行っていくことができるようにライフステージに応じた健康管理が必要である。
④	基本施策の意図、今後の展望	平成23年度中に「新伊賀市健康21計画」を策定し、これまでの生活習慣に関する取り組みを維持し、本市の健康課題の現状から、特に重点を置くべきテーマを設定し、それに対して積極的に取り組む。また市民一人ひとりの健康づくりは、家庭や、地域の仲間、各種団体による支援があれば、より効果的であり、その支援を充実させるため、健康に関する適切な情報提供を行う。

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			優先順位	
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額		
1	健康福祉部健康推進課	449	保健事業（市単分）		28,549	28,644	28,644	1
2	伊賀支所住民福祉課	450	保健事業（市単分）		2,822	2,824	2,824	1
3	健康福祉部健康推進課	463	母子保健事業		62,662	61,555	60,720	2
4	健康福祉部健康推進課	467	健康21推進事業		1,609	1,664	1,740	4
5	健康福祉部健康推進課	468	健康づくり推進事業		3,970	3,855	4,249	3
6								
7								
8								
9								
10								
（以下 続紙）								
事業費 合計					99,612	98,542	98,177	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本指標となる健康教育や健康相談については、市が主体となり実施しているが、その手法により開催数にばらつきが生じていることから健康増進事業の企画及び運営に関し、保健所、福祉事務所その他の関係行政機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会その他の保健医療関係団体、社会福祉協議会その他の福祉関係団体、ボランティアを含む住民の代表等からなる協議会において、これらの者の意見を聴き、その協力を得て、健康増進事業相互間、健康増進事業と医療及び福祉サービス並びに地域と職域の保健サービスの有機的な連携及び調整を積極的に図るものとする。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	疾病の早期発見、早期治療を重視した二次予防的発想から住民の自主性を重視した一次予防を推進する事業であり、国の「第3次国民健康づくり対策」に合致している。
3 役割分担の妥当性	法律による義務付けと市民に対する健康づくりの意識付けは、行政が主体となるべきであるが、保健所、福祉事務所その他の関係行政機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会その他の保健医療関係団体、社会福祉協議会その他の福祉関係団体、ボランティアと連携強化を図る必要がある。
4 総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	健康増進事業の企画及び運営に関し、平成23年度策定予定の「新伊賀市健康21計画」に基づき、保健所、福祉事務所その他の関係行政機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会その他の保健医療関係団体、社会福祉協議会その他の福祉関係団体、ボランティアを含む住民の代表等からなる協議会において、これらの者の意見を聴き、その協力を得て、健康増進事業相互間、健康増進事業と医療及び福祉サービス並びに地域と職域の保健サービスの有機的な連携及び調整を積極的に図るものとする。また、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守り、自分でつくる」という意識を持って、主体的に健康づくりに取り組むとともに、地域・行政・学校・職場などが一体となって、これを支援し、市民の健康づくりを総合的に推進する。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
出前講座の開催（健康教育）		開催数		1
乳児家庭訪問（こんには赤ちゃん訪問）の実施		乳児家庭訪問率		2
健康相談開催数		開催数		3

基本施策指標名	単位	目標	過年度実績		評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
			H21	H22	H23	H25	H27			
1 出前講座（健康教育）の開催回数	目標	%	96	550	529	529	540		健康教育の年間開催数	
	実績	%	523	458						
	達成率	%	544.8	83.3						
2 家庭訪問率	目標	%		84.6	86.1	89.1	92.1		家庭訪問者数/出世届出数×100	
	実績	%	83.1	95.8						
	達成率	%	#DIV/0!	113.2						
3 出前講座（健康相談）の開催回数	目標	回		350	141	141	150		健康相談年間開催数	
	実績	回	135	111						
	達成率	%	#DIV/0!	31.7						
	目標									
	実績									
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!						